

実施体制及び国内外のネットワーク

提案主体名	鳥取市
提案プロジェクト名	鳥取市スマート・グリッド・タウン構想
① 実施体制(構成主体と役割分担)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
鳥取市が中心となり「鳥取市スマート・グリッド・タウン推進協議会」を平成23年2月に設立している。 構成団体:【学術機関】鳥取大学、鳥取環境大学、【経済団体】鳥取商工会議所、【関係企業】パナソニック株式会社、鳥取テクノヒルズ、株式会社富士通、中国電力株式会社、鳥取ガス株式会社、中電技術コンサルタント株式会社、【関係機関】財団法人とっとり地域連携・総合研究センター、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター、財団法人鳥取県産業振興機構、【行政機関】鳥取市	
② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
鳥取市スマート・グリッド・タウン推進協議会の下に、①植物工場用FEMS検討部会、②ハイブリッド発電検討部会、③スマートハウス導入促進検討部会、④モビリティ・バスロケーション検討部会、④CO2排出権取引検討部会等を設置し、具体的な取り組みを検討する。また、鳥取市役所の職員で構成する「鳥取市スマート・グリッド・タウン構想検討プロジェクトチーム(経済観光部(産業・雇用)、環境下水道部(環境)、企画推進部(IT))」を設置し、全庁を上げて取り組む。	
③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論)	
※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
鳥取市は環日本海拠点都市会議(日本、韓国、中国、ロシアの10都市程度で構成)に参画しており、平成23年度の鳥取市開催時に、当該取り組みをPRL、地域の連携を呼びかける。	

※別紙様式3は、可能な範囲内でご提案願います。